

まほろばの丘から

〔文責〕

校長 江頭 雄一郎



前期後半がスタートしました！

38日間の夏休みが終わり、前期後半の学校生活がスタートしました。

朝から気温が上がり、登校時にすでに汗びっしょりになっている子どもたちでしたが、体育館では心を落ち着かせ、立派な姿勢で全校朝会に参加することができている子どもたちがほとんどでした。

私からは、大きく三つのお話をさせていただきました。まず一つ目は、「熊本の地震や千葉の大雨で悲しんでいる方々を笑顔にすることはできないだろうか…」というお願い。そして二つ目は、「大人の準備のために、今、学校に来ている」という学校に通うことの目的。最後に三つめは、「後期後半も笑顔がいっぱいの学校になるように頑張りましょう。」という意欲づけ。少しでも多くの子どもたちの心に届いていればいいなと思いながら、ステージを降りた私でした。

これからもしばらくは厳しい暑さが続きそうです。また、東京の方ではインフルエンザが流行しているとのニュースも流れています。子どもたちの安心・安全を守りながら笑顔で学校生活を送ることができるよう、これまで同様、本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【教室の黒板に書かれた担任からのメッセージ】

地域の中で見た、たくさんの「笑顔」

夏休みに開催された、青葉台、長浦台、つつじヶ丘、大佐野台、ひまわり台の夏祭り（七夕祭り）の様子を見に行かせていただきました。各会場では、様々な年代の方が一堂に会し、思い思いに地域の行事を楽しむ姿がありました。そして、家族と一緒に祭りに参加している子どもたち、友だちと一緒に参加している子どもたち、おじいちゃん・おばあちゃんと参加している子どもたちなど、参加の仕方は様々でしたが、素敵な「笑顔」は共通でした。祭りを楽しみ、笑顔で過ごしている子どもたちの姿を見て、私も楽しい気分になりました。

子どもたちのために、素敵な地域行事を企画・準備・運営していただきました地域の皆さまに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。今後とも、子どもたちの居場所づくり、安心・安全づくりをよろしくお願いいたします。



【各自治会の夏祭り（七夕祭り）の様子】